

## ○専門試験問題例

問1 次の事例を読んで設問に答えなさい。

《事例》

中学校からの再三の勧めに応じた保護者から、こども相談センターの児童福祉司に相談があった。

児童福祉司が、保護者や中学校から聴き取りをした相談内容は次のとおり。

中学2年生男子A君（以下、「A」とする。）。中学1年生の中頃から、授業中の立ち歩きが目立つようになった。教師に注意されて一旦座るが、すぐにまたうろうろし出す。素直に指示を聞くこともあるが、かんしゃくを起こして教室を出ていくこともある。隣のクラスの特定の同級生のところによく行く。教室にはペットボトルのジュースをよく持ち込んでいる。クラスの子とは、穏やかに話すこともあるが、ちょっとしたことで揉めてトラブルになる。担任の若い男性教諭の指示には嫌そうな顔をしながらも比較的従う。担任にはべたべたしたりすることもあるが、叱られると掃除用具箱に隠れたりする。指導に細かい生徒指導教諭に注意されると食って掛かって反抗する。

家族は、実父、継母、A、小学校1年生の異母妹の4人。実母とはAが3歳時に離別。その時期以降数年間は、父親は不在にしがちで、主に父方祖父母に養育された。その頃のAは、おとなしく手のかからない子だった。Aが小学校1年生の時に父親が再婚し、今の家族4人で生活するようになった。

小学生の時は、ことあるごとに父親に怒鳴られた。小学校では授業中も座っており、内容にもついていけていた。しかし最近は、父親の言うこともだんだんきかなくなってきている。父親は「自分たちはやることをやっている。」「ここへ（こども相談センターへ相談に）来て何になるのか。」という。継母は「いうことをきかない。」「元々私ともあまり話をしないので。」と話している。

後日、児童心理司がAと面接を実施。児童心理司「よく来てくれたね。」。A「まあ。」。身を斜にして腰を浮かしたように座り、微かな笑みを見せながら児童心理司の様子をうかがう。心理検査は「いやや。」と拒否。バウムテストも「いや。」。

「○○（アニメキャラクター）なら描いたる。」。雑な線で紙面からはみ出すように素早く鉛筆を走らせ、「ほら、描いたっ。」と絵をぶっきらぼうに差し出す。父母については何を聴いても「ふつう。」。祖父母、異母妹については「知らん。」。担任は「△△（名前）、うるさい。」、生活指導は「うざい。」と。面接時間は30分ほどで終了した。

(1) Aの状態像について、背景や心情にも触れながら述べなさい。

(2) Aの家族の状態像及び中学校の対応の状況について、考えを述べなさい。

(3) この事例への支援について考えを述べなさい。集団生活の中でのAへの対応に苦慮しているという教師への助言も記述すること。

問2「こどもが嘘をつく。嘘をつくなど怒っている。そのときはわかったというが、いくら言っても治らない。」という訴えが保護者からあった。実際の相談場面では、更なる聴き取りと必要な調査を実施して内容を明らかにし、支援をしていくが、このような訴えを耳にしたとき、起きているかもしれないこととその対応として、どのようなことが想定されるか。こどもや家族の状況や心情、助言や支援について考えられることを述べなさい(想定される状況が複数ある場合は、3パターンまで記述すること。)